

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	難波 知子	(****年**月**日)
本 籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(健康科学)	
学位授与番号	乙第33号	
学位授与日付	平成31年3月14日	
学位授与の要件	学位規程第3条第4項該当	
論文題目	胸郭異常のある子どもに対する包括的な学校保健管理に関する研究ー学校健診における胸郭異常のスクリーニングモデルと手術を必要とする子どものサポートプログラムー	
審査委員	教授 矢野 博己	教授 小野寺 昇
	教授 宮川 健	教授 中新 美保子

博士論文内容の要旨

学位申請論文の構成は、第1章「序論」研究の背景と目的、そして第2章「学校健診における胸郭異常のスクリーニングモデル」では、2つの資料分析と3つの調査研究の結果をもとに、実態と課題を明らかにした上で、学校健診における胸郭異常のスクリーニングモデルの開発について述べられていた。第3章「胸郭異常（漏斗胸）の手術を必要とする子どもの学校保健管理サポートプログラム」では、胸郭異常の9割を占める漏斗胸の手術を必要とする子どもへの学校保健管理プログラム内容項目が抽出され、手術に関する新しい知見を整理した上で、術前から復学後までにわたり学校現場で活用できるサポートブックの開発が示された。第4章「全体総括」では、研究結果と今後の課題について序列立てて整理され、そして胸郭異常のある子どもに対する包括的な学校保健管理活動の在り方を提言できたことが結論として述べられていた。なお、本学位申請論文で行われた3つの調査研究は、いずれも倫理委員会の承認を受けて実施されており、研究倫理に配慮された調査が実施されたことが記載されている。

博士論文審査結果の要旨

本審査会は、主査1名、副査3名によって構成された審査委員会により、平成31年1月26日開かれた。

学位申請論文は、胸郭異常のある子どもに対する養護教諭を中心とする学校保健管理の重要性、ならびにその実践に関する具体的な対策について、包括的にとらえ、論理的な記述がなされていた。しかしながら、審査会の中で、①痛みを訴える前段階でのスクリーニングの必要性についての記述の必要性、ならびに②学習指導案および、術後の学校生活での問題点に関する記述（表現方法）について修正が必要である点が指摘された。これ等の点については、最終稿の提出時までに加筆訂正を行うことで対応するよう指示された。また、今後の研究成果の発信方法についての質問がでたが、この点については、建設的で適切な受け答えがなされた。

関連する学術研究論文5編、学会発表10件（国際学会3件を含む）、ならびに学術研究助成獲得3件（うち研究代表2件）の成果に裏付けられた研究成果であること

が確認された。審査会では 30 分間の与えられた時間内で、わかりやすい丁寧なプレゼンテーションが行われ、その後の質疑応答もスムーズに対応できていたことから、プレゼンテーション能力、ならびにコミュニケーション能力を含む、十分な教育指導能力が培われていることを確認した。